ONKYO

C-N7050

ネットワークCDプレーヤー

取扱説明書

保証書付

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

Ja

目次

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店 に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店に 交換をご依頼ください。
	交流 100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置くラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
  禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店 にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）

注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告 乾電池に関する注意
 禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液もれにより、火災･けがの原因となります。

	警告 電池に関する警告
 強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
 禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

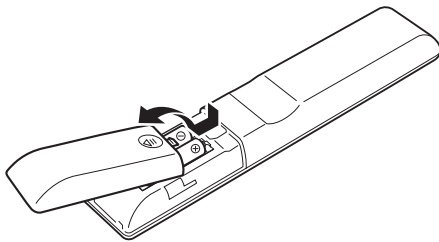
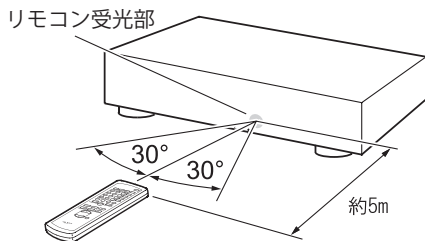
	注意 電池に関する注意
 禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

お使いになる前に

付属品の確認

- RCAオーディオケーブル x 1
- RIケーブル x 1
- リモコン(RC-887C) x 1
- リモコン用乾電池(単4) x 2

リモコンの使い方

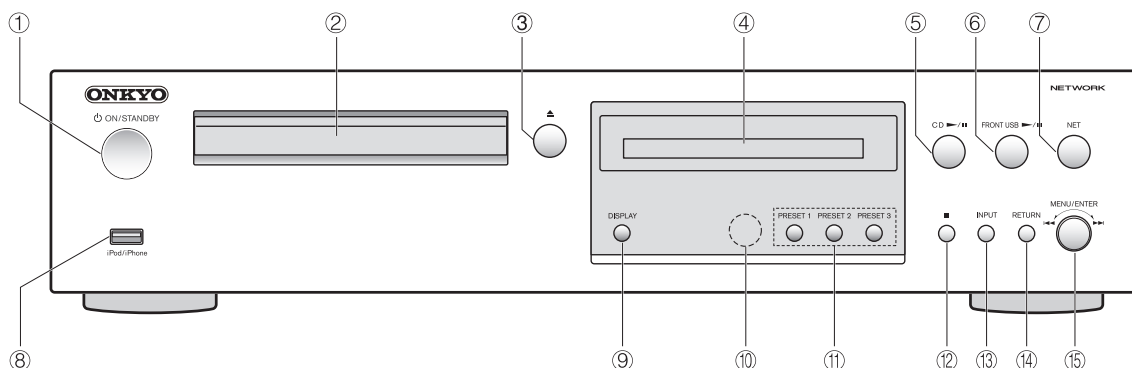
リモコン裏面のフタを外し、ケースの(+)と(-)の表示に合わせて乾電池 (単4形) 2本を入れて、フタを閉めてください。

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。
乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがありますのでご注意ください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。
- 本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

使用上の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。
本機がスタンバイ状態のときでも微弱な待機電力が消費されます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。
お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

各部の名前と主な働き

前面パネル

① ⏻ **ON/STANDBYボタン**
電源のオン/スタンバイを切り換えます。
- 本機はスタンバイ(オフ)のときでも微弱な電力が消費されるので「オフ」と記載せず、「スタンバイ」または「スタンバイ状態」と記載します。

② **ディスクトレー**

③ **トレー開閉(⏏)ボタン**
ディスクトレーを開閉します。

④ **表示部**

⑤ **CD再生/一時停止(CD ► / ❚❚)ボタン**
CD停止/一時停止中に押すと再生を開始します。CD再生中に押すと一時停止します。
- 入力ソースもCDに切り換わります。

⑥ **FRONT USB再生/一時停止(FRONT USB ► / ❚❚)ボタン**
USB停止/一時停止中に押すと再生を開始します。
USB再生中に押すと一時停止します。
- 入力ソースもUSB(F)に切り換わります。

⑦ **NETボタン**
ネットワークサービスメニューを表示します。
- 入力ソースもNETに切り換わります。

⑧ **USB端子**
iPod/iPhone またはUSB メモリーを接続します。
- 入力ソースの切り換え時、この端子は「USB(F)」と表示されます。
- 本機のUSB端子にPCなどを接続しないでください。本機のUSB端子にはPCから音声を入力できません。

⑨ **ディスプレー(DISPLAY)ボタン**
表示される情報を変更します。

⑩ **リモコン受光部**
リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

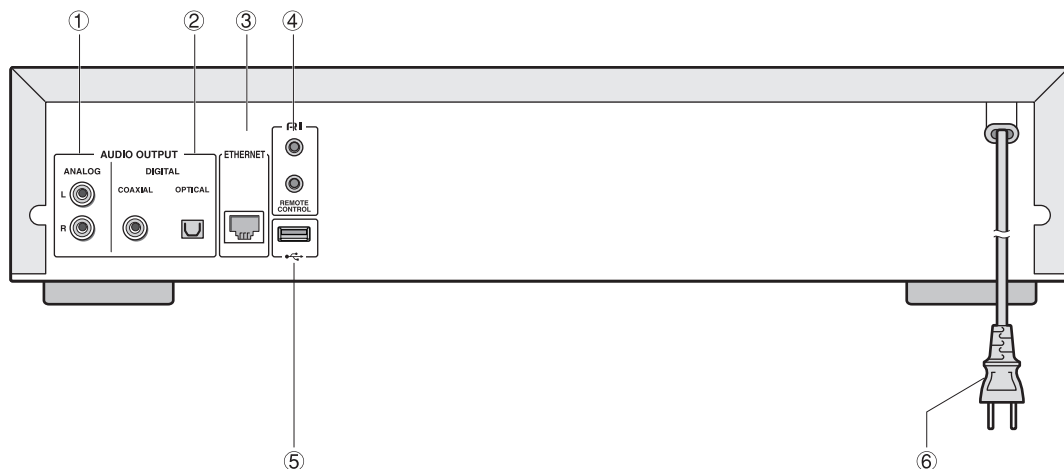
⑪ **プリセット(PRESET) 1/2/3ボタン**
インターネットラジオ(radiko.jp、vTuner Internet Radio)の番組をお気に入りに登録して、再生できます。

プリセット(PRESET)ボタンに登録する
1. 登録するラジオ局を再生する。
2. プリセット(PRESET)ボタン1～3のいずれかを長押しする。
   - 登録できた場合は「Preset OK」と表示されます。
   - 新しいラジオ局を登録するたびに、上書きされます。
   - ラジオ局を再生していない時にプリセット(PRESET)ボタンを押しても、「Preset Failed」と表示され登録されません。

⑫ **停止(■)ボタン**
再生を停止します。

⑬ **入力切換(INPUT)ボタン**
このボタンを押すたびに再生ソースが切り換わります。

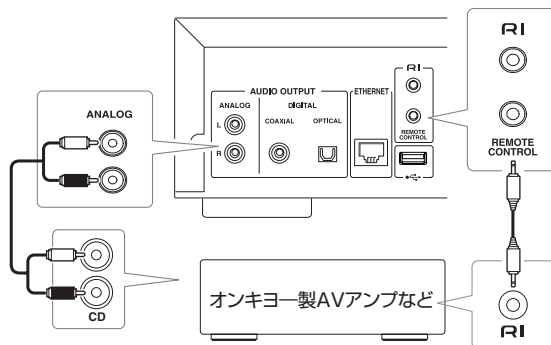
⑭ **リターン(RETURN)ボタン**
メニュー表示中に押すと前のメニューに戻ります。

⑮ **メニュー/エンター (MENU/ENTER) ダイヤル (⏮/⏭)**
右に回すと次の曲に、左に回すと前の曲にスキップします。
押すとENTERボタンとして各設定を確定し、長押しするとMENUボタンとして機能します。
メニュー画面表示中に回すと、表示項目や設定値の変更ができます。

後面パネル

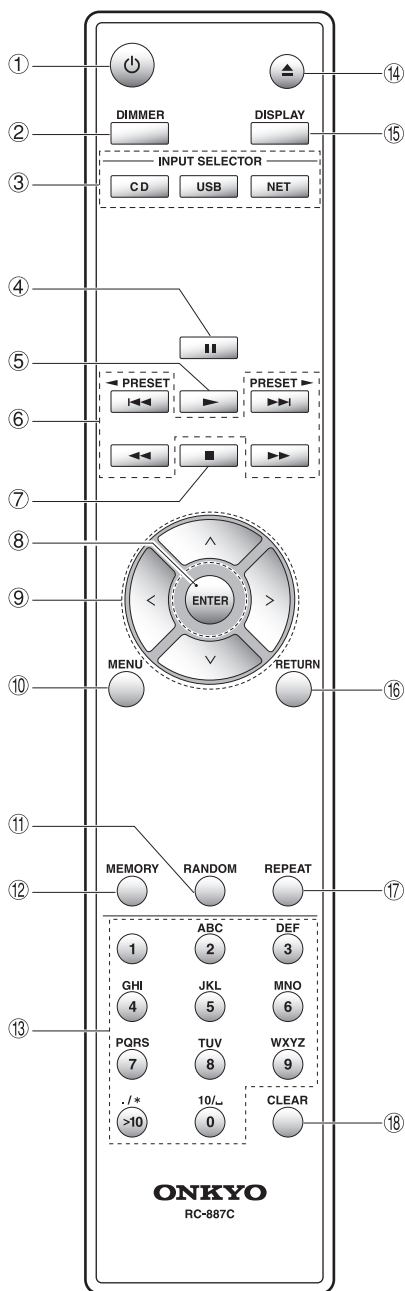
① **アナログ音声出力(LINE OUT)端子**
アナログの音声が出力されます。付属のRCAオーディオケーブルを使って、本機の出力端子とアンプの音声入力端子を接続してください。
オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L) 端子に、赤のピンプラグを赤(R) 端子に接続してください。

② **デジタル音声出力(DIGITAL OUT)端子**
デジタル音声を出力します。本機のデジタル音声出力端子(COAXIALまたはOPTICAL)を、アンプなどのデジタル音声入力端子と接続してください。
COAXIAL : 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル

③ **ETHERNET端子**
有線ネットワークやインターネットに接続をするときは、市販のLAN ケーブルを使って、この端子に接続してください。
- 入力ソースの切り換え時、この端子は「NET」と表示されます。

④ **RI REMOTE CONTROL端子**
付属のRIケーブルを使ってRI端子の付いたオンキヨー製AVアンプやAVレシーバーなどを接続すると、AVアンプやAVレシーバーなどに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。
- 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。
- RI端子が２つある場合、２つの端子の働きは同じです。どちらにもつなげます。
- RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑤ **USB端子**
USBメモリーを接続します。
- 入力ソースの切り換え時、この端子は「USB(R)」と表示されます。
- iPod/iPhone は接続できません。

⑥ **電源コード**

各部の名前と主な働き

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

リモコン

① **⏻ ON/STANDBYボタン**
電源のオン/スタンバイを切り換えます。

② **ディマー(DIMMER)ボタン**
表示部の明るさを切り換えます。

③ **入力切換(INPUT SELECTOR)ボタン**
再生ソースを切り換えます。
- USBボタンは押すたびに「USB(F)」(前面パネル)と「USB(R)」(後面パネル)に切り換わります。

④ **一時停止(❚❚)ボタン**
再生中に押すと一時停止します。
一時停止中に押すと再生を開始します。

⑤ **再生(►)ボタン**
停止/一時停止中に押すと再生を開始します。

⑥ **スキップ(⏮ / ⏭)/サーチ(◄◄ / ►►)ボタン**
前または後ろの曲にスキップします。
フォルダやファイルの選択にも使います。
押し続けると、早送り/早戻しします。
- (◄ PRESET)、(PRESET ►)にあたる機能は、本機には搭載されていません。

⑦ **停止(■)ボタン**
再生を停止します。

⑧ **エンター(ENTER)ボタン**
メニューの選択や設定値を確定するときに使用します。

⑨ **方向(∧ / ∨ / < / >)ボタン**
メニューや選択項目を変更するときに使用します。

⑩ **メニュー(MENU)ボタン**
メニュー画面を表示するときに押します。

⑪ **ランダム(RANDOM)ボタン**
ランダム再生の設定を変更します。

⑫ **メモリー(MEMORY)ボタン**
メモリー再生の設定に使用します。

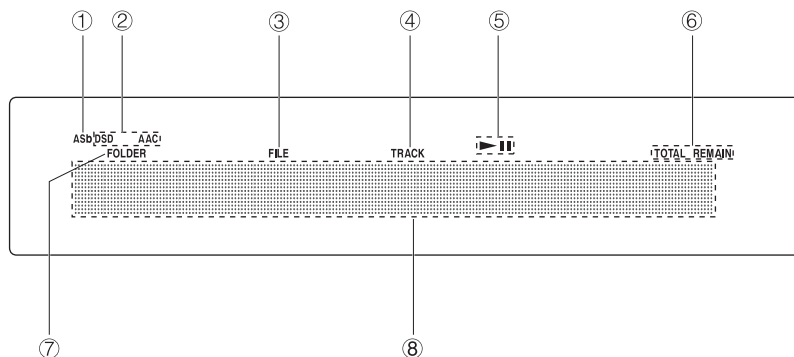
⑬ **数字ボタン**
曲番やファイル、フォルダ番号の入力に使用します。
アルファベット、「.」、「/」、「⎵」は、この機種では使用しません。

⑭ **トレー開閉(⏏)ボタン**
ディスクトレーを開閉します。

⑮ **ディスプレー(DISPLAY)ボタン**
表示される情報を変更します。

⑯ **リターン(RETURN)ボタン**
メニュー表示中に押すと前のメニューに戻ります。

⑰ **リピート(REPEAT)ボタン**
リピート再生の設定を変更します。

⑱ **クリア(CLEAR)ボタン**
メモリー再生の設定に使用します。

表示部

① **オートスタンバイ(ASb)**
オートスタンバイ(Auto Standby)がオンに設定されているときに点灯します。

② **フォーマット**
ソースがUSB、NETのときにDSD、AACフォーマットの音楽ファイルを再生するとDSD、AACがそれぞれ点灯します。

③ **ファイル(FILE)**
ソースがCDのとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとファイルインジケーターが点灯し、インジケーターの下にファイル番号が表示されます。

④ **トラック(TRACK)**
ソースがCDのとき、音楽CDを挿入するとトラックインジケーターが点灯し、インジケーターの下にトラック番号が表示されます。

⑤ **再生/一時停止(► / ❚❚)**

⑥ **トータル/リメイン(TOTAL/REMAIN)**
ソースがCDのとき、以下のディスク情報を表示中に点灯します。
TOTAL : ディスクの総再生時間
REMAIN : 再生中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN : 再生中のディスクの残り時間

⑦ **フォルダ(FOLDER)**
ソースがCDのとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとフォルダインジケーターが点灯し、インジケーターの下にフォルダ数が表示されます。

⑧ **メッセージ表示部**
曲の情報やメニューを表示します。

メッセージ表示部に以下のアイコンが表示されます。

: フォルダ*

: 曲/放送局名

: 再生中*

: 一時停止*

: 早送り*

: 早戻し*

: アーティスト

: アルバム

: リピート

: 1曲リピート

: フォルダリピート*

: ランダム

: ランダムリピート**

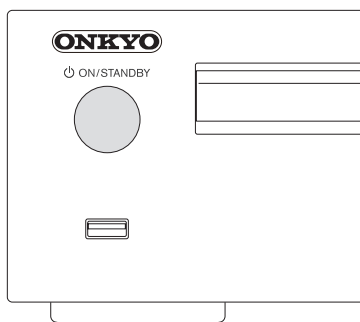
: メモリー**

: メモリーリピート**

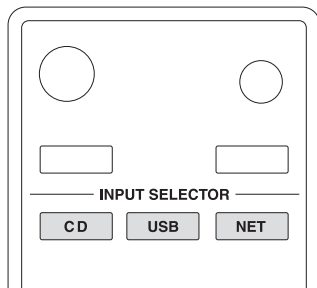
* ソースがCDの時は表示されません。
** ソースがCDの時のみ表示されます。

基本操作

ここでは、どのモードにも共通する操作について説明します。

1. ⏻ ON/STANDBYボタンを押して電源をオンにします。

2. 入力切換(INPUT)ボタンを押して再生ソースを選びます。
   入力切換(INPUT)ボタンを押すたびに、ソースは以下のように変わります。

CD→USB(F)→USB(R)→NET→CD(以降くり返し)

   リモコンでソースを選ぶときは、聴きたいソースのINPUT SELECTORボタン(CD、USB、NET)を押します。

3. ソースを再生します。

再生する

CDを再生する場合：CD再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押します。再生中は、表示部に「 ► 」が表示されます。

USBを再生する場合：USB再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押します。再生中は、表示部に「 ► 」が表示されます。

再生を一時停止する

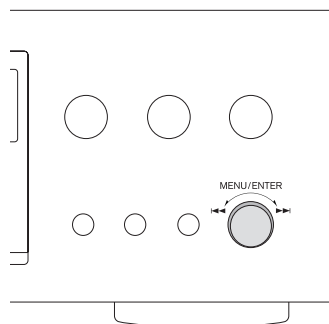
CDを一時停止する場合：CD再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押すと再生が一時停止します。
再びCD再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。
一時停止中は、表示部に「 ▮▮ 」が表示されます。

USBを一時停止する場合：USB再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押すと再生が一時停止します。
再びUSB再生/一時停止(► / ▮▮)ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。
一時停止中は、表示部に「 ▮▮ 」が表示されます。

再生を停止する

停止(■)ボタンを押すと再生が停止します。

聴きたい曲を探す(スキップ)

本体のメニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを回すと、前または次の曲にスキップします。希望する曲番になるまで、回してください。

リモコンで操作する場合は、スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押してください。前または次の曲にスキップします。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

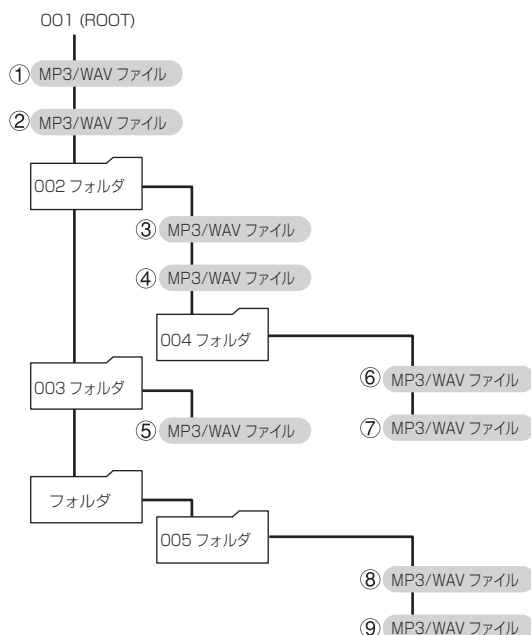
- 再生中は、⏮ を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ を続けて押してください。
- メモリー再生中は、メモリーの前または後ろの曲が再生されます。

聴きたい部分を探す(サーチ)

再生中にリモコンのサーチ(◄◄/►►)ボタンを押し続けている間、早戻し/早送りされます。聴きたいところで指をはなしてください。そこから再生されます。

音楽ファイルの再生順

音楽ファイルを記録したディスクには、通常のPCのファイルと同じように、音楽ファイルをフォルダに格納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダをまとめて1つのフォルダに格納しているものもあります。

音楽ファイルが記録されたディスクをノーマル再生する場合の、フォルダ番号とファイルの再生順(①〜⑨)の例

- 上記の図の順番は、ファイルやフォルダを追加/削除したり、位置を変えたりすることによって変わることがあります。

表示の切り換え(CD /USB/NET)

音楽ファイルを再生中にディスプレー(DISPLAY)ボタンを押すと、表示部に表示される情報が変わります。

音楽CDの場合

再生しているディスク情報を表示できます。

現在の曲の経過時間→REMAIN(再生中の曲の残り時間)→TOTAL REMAIN(再生中のディスクの残り時間)

- ランダム再生や総再生時間が99分59秒を超える場合、「--:--」が表示されます。

MP3/WAVディスクの場合

再生しているMP3/WAVファイルのタイトル名、アーティスト名、アルバム名のID3タグ情報などさまざまなファイル情報を表示できます。

現在の曲の経過時間→ファイル名→フォルダ名→タイトル名(ID3タグのあるとき)→アーティスト名(ID3タグのあるとき)→アルバム名(ID3タグのあるとき)→サンプリングレートとビットレート

- 現在再生中のファイルが99 分59 秒を超える場合は、「--:--」が表示されます。
- 曲名やフォルダ名に、表示できない文字は「*」で表示されます。表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。「設定」の「BAD NAME (バッド ネーム)」をご覧ください。
- WAVファイルにはID3タグがないので、タイトル名などは表示されません。

USB/NETの場合

再生している音楽ファイルのタイトル名、アーティスト名、アルバム名のID3タグ情報などさまざまなファイル情報を表示できます。

タイトル名(ID3タグのあるとき)→アーティスト名(ID3タグのあるとき)→アルバム名(ID3タグのあるとき)→現在の曲の経過時間→現在の曲の再生時間→ファイル形式、サンプリングレートとビットレート

ディマー

リモコンのディマー(DIMMER)ボタンを押すたびに、表示部とインジケーターの明るさが変わります。

通常→やや暗い→暗い→通常(以降くり返し)

オートスタンバイ機能について

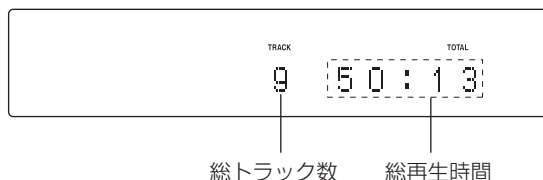
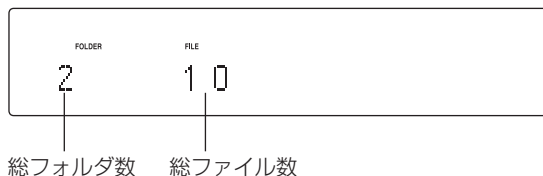
オートスタンバイ(Auto Standby) 機能を「On」にした場合、音声入力がない状態で本機を20分間操作しないと、自動的にスタンバイ状態へ移行します。オートスタンバイ機能が有効になると、オートスタンバイ表示(ASb)が点灯します。
オートスタンバイから復帰するには ⏻ ON/STANDBY ボタンを押してください。

CDを聴くには

以下のディスク/ファイルを再生することができます。

ディスク:CD-DA/CD-R/CD-RW
ファイル:MP3/WAV

1. 入力切換(INPUT)ボタンを押して、再生ソースをCDにします。
   リモコンで操作するときはCDボタンを押します。
2. トレー開閉(⏏)ボタンを押します。
3. ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせます。
4. トレー開閉(⏏)ボタンを押して、トレーを閉めます。

(例) 音楽CDの場合

(例) MP3/WAVディスクの場合

- ディスクがセットされていないときは、「No Disc」と表示されます。

5. CD再生/一時停止(► / ❚❚)ボタンを押します。
   1曲目から再生が始まります。

曲番を入力して再生する(ダイレクトプレイ)

スキップ(⏮ / ⏭)ボタンで曲を選択する以外に曲番を入力して再生することができます。
再生中または停止中に、リモコンの数字ボタンを押して曲番を選ぶことができます。
1桁の場合は、その数字ボタンを押してください。2桁の場合は、「>10」ボタンを押してから数字ボタンを押してください。曲番入力後、再生が始まります。

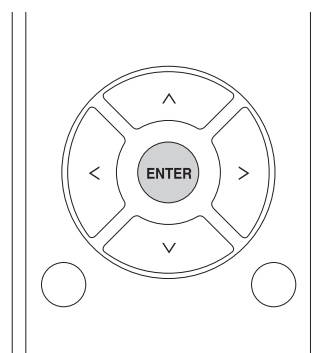
曲番7を入力するとき:「7」を押します。

曲番23を入力するとき:「>10」、「2」、「3」を押します。

MP3/WAVディスクの曲を選択する

ナビゲーションモード

フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。リモコンで操作します。

1. 停止中に停止(■)ボタンを押します。
   表示部に「Root」(ルート)と表示され、ナビゲーションモードになります。
   - 「STOP KEY (ストップ キー)」設定が「Navigation」のとき、本体の停止(■)ボタンを押すとナビゲーションモードになります。
2. 再生(►)ボタンを押します。
   Rootの下の最初にあるフォルダ名が表示されます。
   フォルダが無いときは、最初のファイル名が表示されます。
3. スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選びます。
   他のフォルダ内にあるファイルやサブフォルダを選ぶには、フォルダを選択して再生(►)ボタンを押します。
   スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを使ってフォルダ内のファイルやサブフォルダを選びます。
   - 上の階層に戻るには一時停止(❚❚)ボタンを押します。
4. エンター(ENTER)ボタンまたは再生(►)ボタンを押します。

ファイルの再生が始まります。

オールフォルダモード

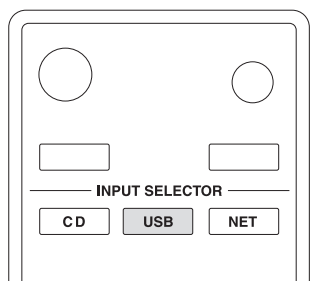
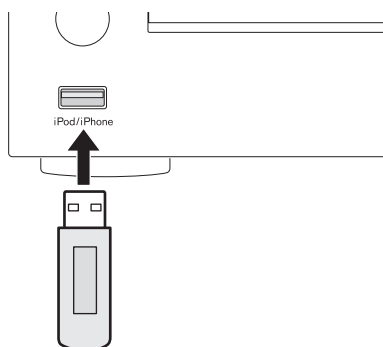
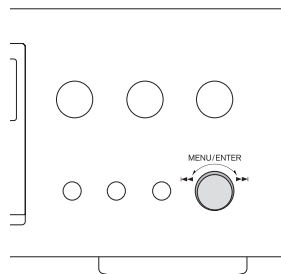
すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んでファイルを選びます。リモコンで操作します。

1. 停止中に一時停止(❚❚)ボタンを押します。
   表示部に「1」と表示され、オールフォルダモードになります。
   - 「STOP KEY (ストップ キー)」設定が「All Folder」のとき、本体の停止ボタン(■)を押すとオールフォルダモードになります。
2. スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押してフォルダを選び、エンター(ENTER)ボタンまたは再生(►)ボタンを押します。
3. スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押してファイルを選びます。
4. エンター(ENTER)ボタンまたは再生(►)ボタンを押します。
   ファイルの再生が始まります。

USBやiPod/iPhoneを聴くには

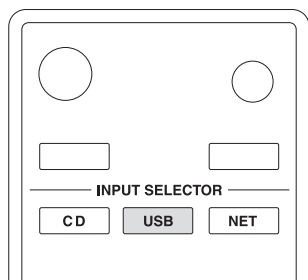
USBを聴くには

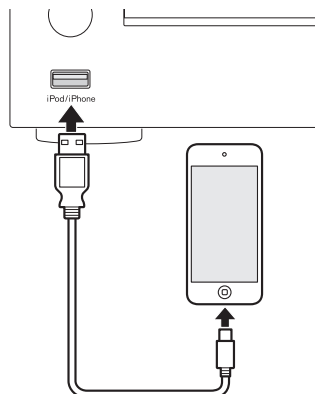
USBメモリーの音楽ファイルの再生では、リピート再生を全曲再生(Repeat All)に設定しない限り、単一フォルダ内の同一階層の音楽ファイルのみを再生します。

1. 本体の入力切換(INPUT)ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」または「USB(R)」にします。
   リモコンで操作するときはUSBボタンを押します。

   - 何も接続されていない場合は、「No Storage」と表示されます。
2. 前面パネルまたは後面パネルの選択した方のUSB端子にUSBメモリーを接続します。

   USBメモリーが認識されると、USBメモリーのボリュームラベルが表示されます。
   - この状態で、USB再生/一時停止(► / ❚❚)ボタンを押すとUSBメモリーの音楽ファイルを含む最初のフォルダ内の曲を順次再生します。
3. メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを押します。

   曲名、またはフォルダ名が表示されます。
   - リモコンの場合は、エンター(ENTER)ボタンを押します。
4. メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを回して曲を選び、再生/一時停止(► / ❚❚)ボタン押します。
   - 選択した曲が再生されます。
   - リモコンで操作するときは方向(∧ / ∨)ボタンで曲を選び、再生(►)ボタンを押します。
   - フォルダを選択した場合、フォルダ内の先頭の曲が再生されます。
   - フォルダを選択してメニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを押すとフォルダ内の曲を選択できます。

iPod/iPhoneを聴くには

以下の説明ではiPodについて記載していますが、iPhoneについても同様です。

1. 本体の入力切換(INPUT)ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」にします。
   リモコンで操作するときはUSBボタンを押します。

- iPodが接続されていない場合は、「No Storage」と表示されます。

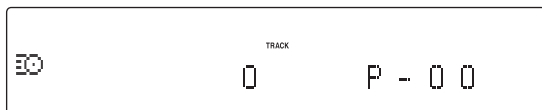
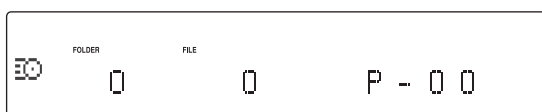
2. 本体前面のUSB端子とiPodを、iPodに付属のUSBケーブルで接続します。

- iPodは、前面パネルのUSB端子(iPod/iPhone)に接続してください。

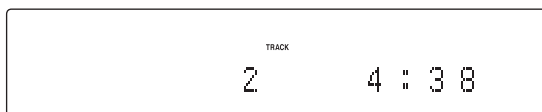
3. iPodを操作して再生をします。
   - 表示部に「USB(iPod)」と表示されます。コンテンツ情報は表示されません。
   - 本機にiPodを接続すると、本機の電源がオンのときのみ充電します。フル充電すると充電を停止します。本機の電源がスタンバイのときは充電できません。

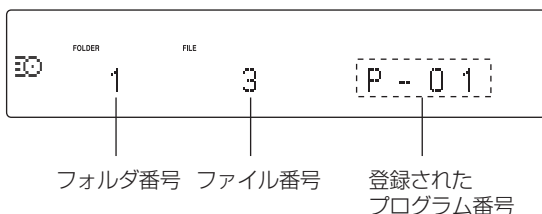
メモリー再生 (CD)

本機は最大25曲を登録することができます。リモコンで操作します。
- この操作は停止中に行ってください。

1. リモコンのメモリー(MEMORY)ボタンを押します。

例) 音楽CDの場合

(例) MP3/WAVディスクの場合

2. 登録する曲を選びます。

(例)音楽CDの場合
スキップ(⏮/⏭)ボタンを押して、登録する曲を選びます。

音楽CDの場合、リモコンの数字ボタンで曲番を選択することもできます。(「曲番を入力して再生する(ダイレクトプレイ)」)
再生(►)ボタンを押して曲を登録します。この手順を繰り返して必要な曲を登録します。

(例)MP3/WAVディスクの場合
「MP3/WAVディスクの曲を選択する」の手順で必要な曲を登録します。

3. 再生(►)ボタンを押して再生を開始します。

聴きたい曲を探す(スキップ)

スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押すと登録した曲の前または後ろの曲が再生されます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。
- 再生中は、スキップ(⏮)ボタンを1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、スキップ(⏮)ボタンを続けて押してください。

登録した内容を確認する

停止中にサーチ(◄◄ / ►►)ボタンを押すと曲番号と再生時間が表示されます。

登録した曲を取り消す

停止中にクリア(CLEAR)ボタンを押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。

メモリーの最後に曲を追加する

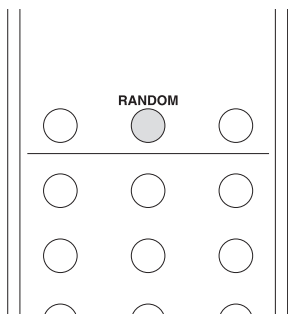
停止中にスキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押して、追加する曲を表示させ、再生(►)ボタンを押すとメモリーの最後に曲が追加されます。

メモリー再生を解除するには

停止(■)ボタンを押して再生を停止させ、メモリー(MEMORY)ボタンを押します。
- トレー開閉(⏏)ボタンを押して、トレーを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、メモリー再生は解除されます。

メモリー再生/ランダム再生/リピート再生

ランダム再生 (CD/USB)

曲順をランダムに並べかえて再生します。
リモコンのランダム(RANDOM)ボタンを押すたびにランダム再生が切り換わります。

音楽CD、MP3/WAVディスクの場合

曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。このモードは停止中のみ設定できます。
ランダム(RANDOM)ボタンを押してランダム再生モードになると、表示部左側に 🔀 が表示されます。

- 再生中にランダム(RANDOM)ボタンを押すと、現在の再生状態「Normal Play」または「Randam Play」が表示され、再生状態の変更はできません。

次の場合、ランダム再生はキャンセルされます。

- 電源がスタンバイになったとき
- ディスクトレーを開けたとき

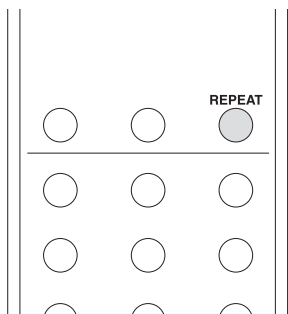
USBメモリーの場合

フォルダ内の音楽ファイルを繰り返しランダム再生します。
ランダム(RANDOM)ボタンを押してランダム再生モードになると、表示部左側に 🔀 が表示されます。

以下の場合、ランダム再生はキャンセルされます。

- Net Standbyが「Disable」に設定された状態で、電源がスタンバイになったとき
- リピート再生にしたとき

リピート再生 (CD/USB)

リピート(REPEAT)ボタンを押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

音楽CD、MP3/WAVディスクの場合

リモコンのリピート(REPEAT)ボタンを押すたびに表示部の左側に以下のアイコンが表示されます。

- リピート再生はランダム再生と組み合わせることができます。

🔁 (Repeat All)→🔂 (Repeat 1)→表示なし(Repeat Off)

- 以下の場合に、リピート再生はキャンセルされます。
  - 電源がスタンバイになったとき
  - ディスクトレーを開けたとき

USBメモリーの場合

リモコンのリピート(REPEAT)ボタンを押すたびに表示部の左側に以下のアイコンが表示されます。

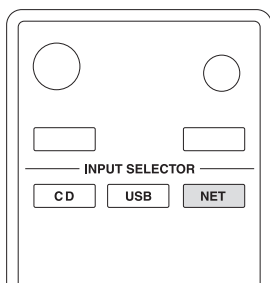
🔁 (Repeat All)→🔂 (Repeat 1)→🔁 (Folder Repeat)→表示なし(Repeat Off)

以下の場合に、リピート再生はキャンセルされます。

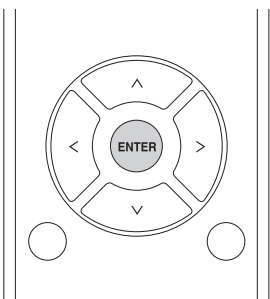
- ランダム再生にしたとき(ランダム再生モードを解除すると、設定したリピート再生モードに戻ります)

radiko.jpを聴く

radiko.jp (ラジコ)は地上波ラジオ放送をCMも含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。対応(聴取可能)エリア、対応放送局について詳しくはradiko.jpのウェブサイト(http://radiko.jp)をご覧ください。

- radiko.jpを聴くにはインターネットに接続する必要があります。

1. ネット(NET)ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させます。

> **ネットワークサービスメニュー**
> NETボタンを押したあと、方向 (∧ / ∨ / < / >)ボタンで以下のメニューが選べます。
> vTuner Internet Radio→radiko.jp
> →My Favorites→DLNA→Home Media

2. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して「radiko.jp」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。radiko.jpサービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。

3. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して放送局を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   再生が開始されます。
   楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。
   楽曲情報が無い放送局の場合は、番組名、出演者名が表示されます。

放送局を切り換える

再生中に、スキップ(⏮ / ⏭)ボタンを押すと、放送局が切り換わります。

番組情報を表示する

再生中の放送局の番組情報を確認することができます。

1. メニュー(MENU)ボタンを長押しします。
2. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して表示する項目を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。

   選択できる項目は以下の通りです。

   Today's Program : 当日の番組一覧が表示されます。

   Tomorrow's Program : 明日の番組一覧が表示されます。

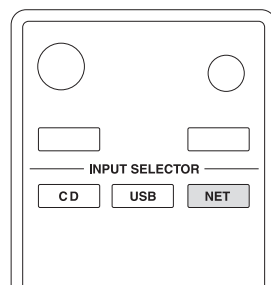
   Program's detail : 再生している番組の番組詳細が表示されます。

   Topics : 番組のトピックスが表示されます。放送された楽曲のリストやおすすめ情報など、放送をより楽しむための情報が表示されます。

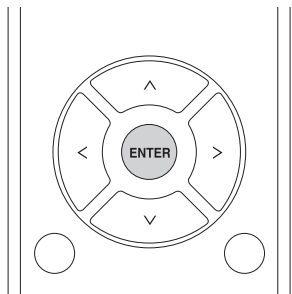
   - リターン(RETURN) ボタンを押すともとの表示に戻ります。

vTuner Internet Radioを聴く

vTuner Internet Radioは、世界中のインターネットラジオ局のポータルサイトです。音楽ジャンル別、国別などの区分で各地のラジオ局を検索できます。本機ではあらかじめ、vTuner Internet Radioが登録されています。

- vTuner Internet Radioを聴くにはインターネットに接続する必要があります。

1. ネット(NET)ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させます。

> **ネットワークサービスメニュー**
> NETボタンを押したあと、方向 (∧ / ∨ / < / >)ボタンで以下のメニューが選べます。
> vTuner Internet Radio→radiko.jp
> →My Favorites→DLNA→Home Media

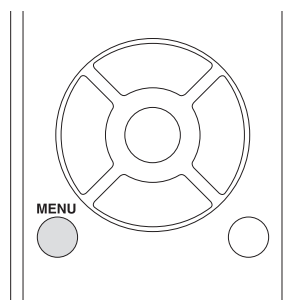
2. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して「vTuner Internet Radio」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。サービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。
3. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して放送局を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。再生が開始されます。

- リモコンのメニュー(MENU)ボタンを長押ししてから、方向(∧ / ∨)ボタンで「Stations like this」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押すと、再生中の局と似た放送局を表示できます。

vTuner Internet Radioの番組をお気に入りに登録する

vTuner Internet Radioの特定の番組を、再生しやすいようにお気に入りに登録できます。2通りの方法があります。

①「My Favorites」に登録する

ネット(NET)ボタンを押した後に表示されるネットワークサービスメニューの「My Favorites」メニューに、お気に入りの番組を登録します。

1. 登録するラジオ局を選び、リモコンのメニュー(MENU)ボタンを長押しします。
   - ラジオ局は再生していても登録できます。

2. 方向(∧/∨)ボタンを押して「My Favoritesに登録」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
3. ラジオ局の名前を変更せずに登録する場合は、方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して「OK」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。ラジオ局の名前を変更して登録する場合は、方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して文字を入力し、最後に「OK」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。

文字の入力について：「その他の操作」の「文字を入力する」の項をご参照ください。

> **プリセット(PRESET)ボタンでの操作**
> プリセット（PRESET）ボタン1〜3のいずれかを長押しすると、再生中の放送局をプリセット（PRESET）ボタンに登録することができます。

②vTuner Internet Radioの「ブックマーク」に登録する

vTuner Internet Radio を選び、エンター(ENTER) ボタンを押せば、ジャンル/ 地域などと同じ階層に「ブックマーク」のフォルダが表示されます。この中にお気に入りのインターネットラジオ番組を登録します。

> **操作をはじめる前に**
> - この操作には、PCが必要です。

■ ユーザー登録する：

1. 本機と同じネットワークに接続されているPCを使い、PCのWeb ブラウザを開き、http://onkyo.vtuner.com/にアクセスします。
2. サイトが表示されたら、画面上部の国旗を選んで言語を切り換えます。
3. 言語が切り換わったら、ID番号入力欄に本機のIDを入力します。
   - 本機のIDを確認するには、リモコンのNETボタンを押して、方向(∧ / ∨)ボタンを押して「vTuner Internet Radio」方向を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。次に方向(∧ / ∨)ボタンで「ID ＃」を表示させます。「ID＃」の後に続く、12桁の英数字が本機のIDですのでメモに控えてください。
4. PCの次の画面で、「Create Account Login」をクリックし、さらに次の画面でアカウントを作成してください。
   電子メールアドレスがログインIDになります。パスワードはログイン時に必要になりますので、必ずメモしてください。

■ラジオ局をお気に入りリストに追加する：

1. ログインすると、PCの画面でラジオ局を選択できる画面に切り換わりますので、ジャンル別、地域別、言語別の表示に切り替えたり、検索機能を使用したり、お好きな方法で追加するラジオ局を表示します。
2. ブックマークに追加するには、追加したいラジオ局名の左に表示される追加アイコン(♥+)をクリックします。
   この際に、グループを作成することができます。画面の案内に沿って操作してください。
   - ブックマークから放送局を削除するには、削除アイコン(♥+)をクリックします。

他のインターネットラジオを登録する(My Favorites)

本機に登録されているインターネットラジオ番組以外の番組を聴くには、以下の手順で番組をネットワークサービスメニューの「My Favorites」リストに登録します。

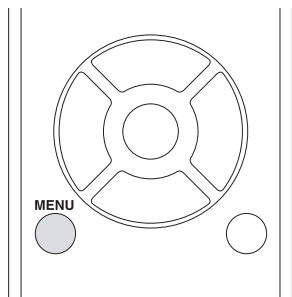
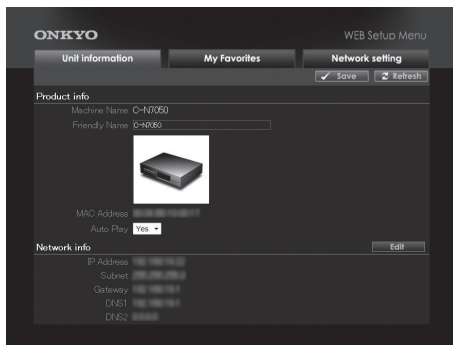
ネットワーク サービスメニュー
NETボタンを押したあと、方向（ ∧ / ∨ / < / > ）ボタンで以下のメニューが選べます。
vTuner Internet Radio→radiko.jp
→My Favorites→DLNA→Home Media

本機は、PLS 形式、M3U 形式、およびPodcast(RSS)形式のインターネットラジオ局に対応しています。これらの形式のインターネットラジオ局であっても、データの種類や再生フォーマットによって、再生できないこともあります。

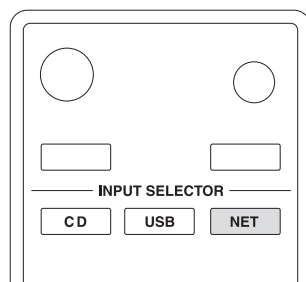
- インターネットラジオ番組を聴くにはインターネットに接続する必要があります。
- サービスプロバイダーがサービスを終了していると、本機でそのネットワークサービスやコンテンツを利用できなくなる場合があります。

番組を登録する

操作をはじめる前に
- この操作には、PCが必要です。
- My Favorites の設定を行うにはPCと本機を同じネットワークに接続する必要があります。
- 登録操作には、追加するラジオ局の名前とURLが必要になります。事前にご確認ください。

1. メニュー(MENU)ボタンを押します。

2. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して「NET Setting」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
3. 「IP Address」が表示されるので、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   IPアドレスをメモに控えてください。
4. PCの電源を入れ、Internet Explorerなどのインターネットブラウザを開きます。
5. インターネットブラウザのURL欄に本機のIPアドレスを入力します。
   インターネットブラウザに本機の情報(WEB Setup画面)が表示されます。
   - Internet Explorerをご利用の場合は「ファイル」から「開く」を選び、IPアドレスを入力する方法もあります。

6. 「My Favorites」タブをクリックして、インターネットラジオ局の名前とURLを入力します。
7. 「Save」をクリックしてインターネットラジオ局を登録します。
   登録したインターネットラジオ局は「My Favorites」に追加されます。

再生する

1. ネット(NET)ボタンを押します。

2. ネットワークサービスメニューの「My Favorites」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押してインターネットラジオ局を表示させます。

ネットワークサービスメニュー
NETボタンを押したあと、方向（ ∧ / ∨ / < / > ）ボタンで以下のメニューが選べます。
vTuner Internet Radio→radiko.jp
→My Favorites→DLNA→Home Media

3. 登録したインターネットラジオ局を選んでエンター(ENTER)ボタンを押します。
   - 「My Favorites」メニューに新しいラジオ局を追加したい場合は、リスト内のブランクを選びメニュー(MENU)ボタンを長押ししてからエンター(ENTER)ボタンで「新しいステーションを追加」を選びます。再度エンター(ENTER)ボタンを押すと、入力可能な文字列が表示されるので、名前とURLを入力します。
   - 登録したラジオ局を削除する場合は、再生中のラジオ局またはラジオ局を選びメニュー(MENU)ボタンを長押ししてから、方向(∧ / ∨)ボタンで「My Favoritesから削除」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。またWEB Setupからでも削除できます。
   - 登録したラジオ局の名前を変更する場合は、ラジオ局を選びメニュー(MENU)ボタンを長押ししてから方向(∧ / ∨)ボタンで「ステーション情報」を選びエンター(ENTER)ボタンを押します。
   - インターネットラジオ局は40局まで登録できます。

DLNA

DLNAの概要

DLNA（Digital Living Network Alliance）とは、ホームネットワークを使って、AV機器やPCなどを相互に連携して利用するための技術仕様を策定する業界団体、またその仕様自体を指します。
本機では、DLNAでPCやNAS（ネットワークに接続されたハードディスク）に保存された音楽ファイルをストリーミング再生して楽しむことができます。なお、本機とPCまたはNASは同じルータに接続する必要があります。

- DLNAサーバー機能を持ったNASなどの機器と、音楽をストリーミング再生するためのDLNAプレーヤー（ソフトウェア）で再生できます。また、PCを使うと、Windows Media Player 11または12がDNLAサーバーとプレーヤーの機能を備えていますので、その機能を利用して音楽ファイルを再生します。Windows Media Player 11または12は、ストリーミング再生をするための事前の設定が必要です。
- Windows Media Player 12のリモート再生機能を使うと、PCを操作して、PCに保存された音楽ファイルを本機でストリーミング再生できます。

Windows Media Playerの設定をする

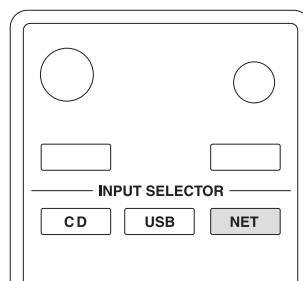
■ Windows Media Player 11の場合：

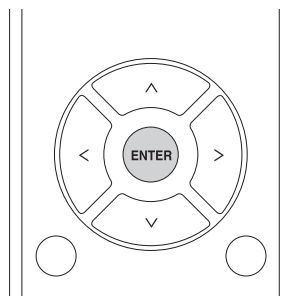
1. PCの電源を入れ、Windows Media Player 11を開きます。
2. 「ライブラリ」メニューから「メディアの共有」を選んで、ダイアログを開きます。
3. 「メディアを共有する」のチェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックして、対応機器を表示させます。
4. 本機を選び、「許可」をクリックします。
   - クリックすると、本機のアイコンにチェックが付きます。
5. 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。

■ Windows Media Player 12の場合：

1. PCの電源を入れ、Windows Media Player 12を開きます。
2. 「ストリーム」メニューから「メディアストリーミングを有効にする」を選んで、ダイアログを開きます。
   - メディアストリームがすでに有効になっている場合は、「ストリーム」メニューから「その他のストリーミングオプション」を選ぶと、ネットワーク内の再生機器一覧が表示されますので、手順4に進んでください。
3. 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックして、ネットワーク内の再生機器一覧を表示させます。
4. 「メディアストリーミングオプション」で本機を選び、「許可」になっていることを確認します。
5. 「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。

DLNA再生

1. PCまたはネットワークサーバーを起動します。
2. ネット(NET)ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させます。

ネットワークサービスメニュー
NETボタンを押したあと、方向（ ∧ / ∨ / < / > ）ボタンで以下のメニューが選べます。
vTuner Internet Radio→radiko.jp
→My Favorites→DLNA→Home Media

3. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して「DLNA」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。

4. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押してネットワークサーバーを選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
ネットワークサーバーの項目が表示されます。
   - サーチ機能に対応していないネットワークサーバーでは、サーチ機能は働きません。
   - 本機はネットワークサーバーにある写真や動画にアクセスすることはできません。
   - ネットワークサーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。
5. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター(ENTER)ボタンまたは再生(►) ボタンを押します。
   - メディアサーバーによっては、早送り/早戻り/一時停止の操作が機能しない場合があります。
   - サーバーから情報が取得できないと「No Item」というメッセージが表示されます。この場合は、サーバーおよびネットワークの接続を確認してください。
   - Windows Media Playerのライブラリに音楽ファイルを追加した直後は、新しい音楽ファイルが本機の音楽ファイル一覧に表示されないことがあります。これは、Windows ライブラリのインデックスが更新されていないためです。インデックスが自動で更新されるのを待つか、手動でインデックスを再構築してください。操作手順はWindowsのオンラインヘルプをご覧ください。

リモート再生する

リモート再生とは、ホームネットワーク内のDLNA準拠のコントローラー機器やPCを操作することにより、それぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機で再生する機能です。

- My Favoritesの設定を行うにはDLNA準拠のコントローラー機器やPCと本機をネットワークに接続する必要があります。

1. 本機の電源を入れます。
2. PCの電源を入れ、Windows Media Playerを開きます。
あらかじめ、Windows Media Playerの設定をしておく必要があります。
3. Windows Media Playerで再生したい音楽ファイルを選び、右クリックします。
右クリックメニューが表示されます。
   - 別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。
4. 「リモート再生」から本機を選びます。
Windows Media Playerの「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。
リモート再生中の操作は、お使いのWindows 7の「リモート再生」ウィンドウで行います。
   - 以下のいずれかの場合、本機はリモート再生できません。
     - ネットワークサービスを使っている。
     - USB デバイスまたはiPod/iPhone の音楽ファイルを再生している。

Home Media (共有フォルダの曲を再生する)

共有フォルダの概要

共有フォルダとは、PCやNAS(ネットワークに接続されたハードディスク)などのネットワーク機器内に他のユーザーからも参照できるように設定されたフォルダを指します。本機では、同じネットワークに接続されたPCやNASの共有フォルダ内の音楽ファイルを再生することができます。共有フォルダの曲を再生するには、事前にWindows 8またはWindows 7で設定が必要です。なお、本機とPCまたはNASは同じルータに接続する必要があります。

- PCでは、事前に共有オプションの設定と、PC内で共有フォルダを作成しておく必要があります。
- NASの設定や共有フォルダの作成方法は、NASの取扱説明書をご覧ください。

PCの設定をする

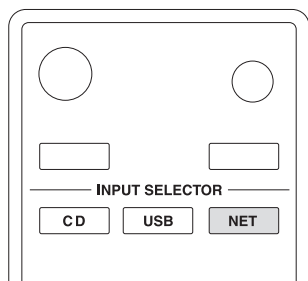
■ 共有オプションの設定をする：

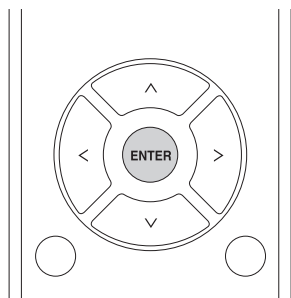
1. 「コントロールパネル」の「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選びます。
   - メニューが表示されない場合、「表示方法」が「カテゴリ」になっているか確認してください。
2. 「共有の詳細設定の変更」を選びます。
3. 「ホームまたは社内」で、以下のラジオボタンを選んでいるか確認します。
「ネットワーク探索を有効にする」
「ファイルとプリンターの共有を有効にする」
「共有を有効にしてネットワークアクセスがあるフォルダ内のファイルを読み書きできるようにする」
「パスワード保護の共有を無効にする」
4. 「変更の保存」を選び、確認画面で「OK」をクリックします。

■ 共有フォルダを作成する：

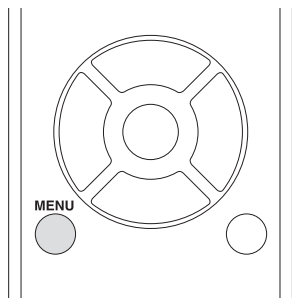
1. 共有するフォルダを選び、右クリックします。
2. 「プロパティ」を選びます。
3. 「共有」タブから「詳細な共有」を選びます。
4. 「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。
5. 「ネットワークのファイルとフォルダーの共有」から「共有」をクリックします。
6. プルダウンメニューから「Everyone」を選び、「追加」をクリックしてから「共有」をクリックします。
   - 共有フォルダにユーザーとパスワードを設定するには、「共有」タブの「詳細な共有」で「アクセス許可」を設定してください。
   - ワークグループが設定されているか確認してください。

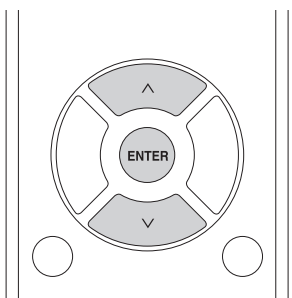
共有フォルダ再生

1. ネット(NET)ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させます。

ネットワークサービスメニュー
NETボタンを押したあと、方向 (∧ / ∨ / < / >) ボタンで以下のメニューが選べます。
vTuner Internet Radio→radiko.jp
→My Favorites→DLNA→Home Media

2. 方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを押して「Home Media」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。

3. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して、サーバーを選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   お使いのPCのサーバー名は、PCのプロパティから確認できます。
4. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して、共有フォルダを選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
5. ユーザー名とパスワードを要求されたら、必要なアカウント情報を入力します。
   - 一度入力されたアカウント情報は保存され、次回からの入力が不要になります。
   - アカウント情報については、共有フォルダの作成時に設定したアカウント情報を使用してください。
6. 方向(∧ / ∨)ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター(ENTER)ボタンまたは再生(►) ボタンを押します。
   再生が開始されます。

以下の手順でメニューを表示させ、設定値を変更します。

1. メニュー(MENU)ボタンを押します。

- 本体で操作する場合は、メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを長押しします。

2. 方向(∧ / ∨)ボタンで変更したい設定項目を選びます。

方向(∧ / ∨)ボタンを押すたびに以下のように設定項目が変わります。

入力切換がCDの場合 :
MP3 Setting→Asb(Auto Standby) →Net Setting→Update

入力切換がUSBの場合 :
Asb(Auto Standby)→MUSIC OPT→Audio Output→Update

入力切換がNETの場合 :
Net Setting→Update→Asb(Auto Standby)→MUSIC OPT→Audio Output

- 最初に表示される設定項目は再生ソースによって異なります。
- 本体で操作する場合は、メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを回してください。

3. エンター(ENTER)ボタンを押します。
   - 本体で操作する場合は、メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを押します。
     「MP3 Setting」、「Net Setting」の場合は、手順2と1を繰り返してサブメニューも選択してください。
   - 「Net Setting」「Update」の選択および変更には、電源投入から1分程度かかります。
4. 方向(< / >)ボタンを押して、設定値を変更します。
   - 本体で操作する場合は、メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを回してください。
5. エンター(ENTER)ボタンを押して確定します。
   - 本体で操作する場合は、メニュー/エンター(MENU/ENTER)ダイヤルを押してください。
6. 設定が終了したら、リターン(RETURN)ボタンを押してメニュー画面を抜けます。
   - 「NET Setting」のサブメニュー表示後、リターン(RETURN)ボタンを押すと「Network Save? 」が表示されます。エンター(ENTER)ボタンを押して設定を保存してください。リターン(RETURN)ボタンを押してメニュー画面を抜けると設定値が保存されません。

MP3 Setting

MP3/WAVファイル情報の表示方法を選択したり、MP3/WAVディスクの再生方法などを設定することができます。
この設定はディスク停止中のみ変更できます。

■BAD NAME (バッド ネーム)

MP3/WAV ファイル情報の表示方法を選択します。

- ID3タグ情報については、設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。

Replace : 曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれている場合、「File_n」や「Folder_n」(nは曲番/フォルダ番号)に置き換えて表示させます。

Not (出荷時設定) : 表示できる文字は表示し、できない文字は「*」で表示します。

■ID3 Ver.1

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示を設定します。

Read (出荷時設定) : タグ情報を読み込んで表示します。

Not Read : タグ情報を表示しません。

■ID3 Ver.2

ID3 Version2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示を設定します。

Read (出荷時設定) : タグ情報を読み込んで表示します。

Not Read : タグ情報を表示しません。

■Hide Number (ハイド ナンバー)

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。

Disable (出荷時設定) : 番号を表示します。

Enable : 番号を隠します。

- MP3/WAV CDをPCで作成した場合、通常ファイルの再生順序は決められません。ただし、MP3/WAVファイルの先頭に01、02、03のように番号を付けると順番に再生されます。

■STOP KEY (ストップ キー)

本体の停止(■)ボタンを押したときの設定を行います。

Navigation (出荷時設定) : 停止(■)ボタンを押すとナビゲーションモードになります。

Disable : 停止(■)ボタンを押しても、ナビゲーションモード、オールフォルダモードになりません。

All Folder : 停止(■)ボタンを押すとオールフォルダモードになります。

M. OPT (Music Optimizer)

MP3などの非可逆圧縮ファイルでは、音源の圧縮により、もとの音源よりも音質が低下しています。MUSIC OPTを使用することにより、圧縮された音源の最適化を行います。

OFF (出荷時設定) : MUSIC OPTを使用しません。

ON : MUSIC OPTを有効にします

ASb (Auto Standby)

オートスタンバイ(Auto Standby)機能が有効のとき、以下の条件で本機を20分間操作しないと、自動的にスタンバイに移行します。

CD : ディスクなしまたは、ディスク停止

NET、USB : 入力ソースを再生していないこと

本機能を有効にすると、表示部に「ASb」表示を点灯します。移行するスタンバイの状態は、「Net Standby」で設定します。

OFF (出荷時設定) : オートスタンバイ機能を無効にします。

ON : オートスタンバイ機能を有効にします。

NET Setting

ネットワークサービスを使う場合、あらかじめ本機のネットワーク設定を行ってください。
設定は、接続するネットワーク環境に合わせて行ってください。

- radiko.jp、vTuner Internet Radio、その他のインターネットラジオを聴くにはインターネットに接続する必要があります。
- 「Net Standby」は本機をネットワークに接続するための設定ではありません。
- DHCPの設定がEnable (出荷時設定)の場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」の設定は表示のみとなり、変更できません。DHCPの設定がDisableの場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」を設定する必要があります。
- 「Net Setting」のサブメニュー表示後、リターン(RETURN)ボタンを押すと「Network Save? 」が表示されます。設定を変更するときは、エンター(ENTER)ボタンを押して保存してください。リターン(RETURN)ボタンを押してメニュー画面を終了すると、変更した設定は反映されません。

以下の順番でサブメニューが表示されます。

IP Address : IPアドレスを表示/設定します。

MAC Address : 本機のMACアドレスを表示します。

DHCP :
Enable (出荷時設定) : DHCP有効
Disable : DHCP無効

Subnet Mask : サブネットマスクを表示/設定します。

Gateway : デフォルトゲートウェイを表示/設定します。

DNS Server : DNSサーバーアドレスを表示/設定します。

Proxy URL : Proxyサーバーアドレスを設定します。

Proxy Port :
Proxyポート番号を設定します。
- Proxy URLを設定した時のみ表示されます。

Network Standby : スタンバイ状態のときに、ネットワークを通じて本機をコントロールできるかどうかを設定します。
Disable (出荷時設定) : ネットワークを通じて本機をコントロールできません。
Enable : ネットワークを通じて本機をコントロールできます。
- 「Enable」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

Update

本機のファームウェアをアップデートできます。アップデート中は、本機の電源をスタンバイにしないでください。
- アップデート手順は「ファームウェアアップデート」をご覧ください。

Version :
現在のファームウェアのバージョンを表示します。

CN via NET/ CN via USB :
ネットワーク経由またはUSBメモリー経由でファームウェアをアップデートします。

Audio Output

音声出力(デジタル/アナログ)の設定を行います。3つのモードがあり、接続するアンプなどのD/A変換性能に応じてお選びください。主に、デジタル出力について記載していますが、アナログ出力は基本的にD/A変換した音声信号になります。

Mode1：ほとんどの機器のデジタル入力で対応可能なスペック(PCM44.1/48KHz)に変換するモードです。
- サンプリング周波数がPCM48KHz以上の音声をPCM44.1/48KHzに変換して出力します。
- DSD音声については、PCM44.1KHzでデジタル出力されます。

Mode2(出荷時設定)：PCM192kHzまでのデジタル入力スペックに対応した機器との接続に適合したモードです。
- サンプリング周波数がPCM192KHzまでの音声はそのまま出力されます。
- DSD音声については、PCM44.1KHzでデジタル出力されます。

Mode3：DSD信号をそのままアナログ変換して出力するモードです。
- DSD音声は、Digital出力されません。
- サンプリング周波数がPCM192KHzまでの音声はそのまま出力されます。

文字を入力する

「Net Setting」や「My Favorites」メニューなど、文字を入力するときは以下の方法で文字を入力します。

1. リモコンの方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを使って文字・記号を選び、「ENTER」ボタンを押します。
   この操作をくり返して、文字を入力します。
2. 入力が終わったら、リモコンの方向(∧ / ∨ / < / >)ボタンを使って「OK」を選び、「ENTER」ボタンを押します。
   この操作を行わないと入力した文字が保存されません。
   入力できる文字は以下の通りです。

   a～z 1～0 - = ` { } | : " < > ?
   A～Z ! @ # $ % ^ & * ( ) _ + ˉ [ ] ＼ ; ', . /

   Space (スペース) : 1文字分空白のスペースを入力します。

   Shift (シフト)* : 表示する文字が切り換わります。

   ← (左) / → (右) : 名前入力エリア内でカーソルを移動するときに選びます。

   BS (バック スペース)** : カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

   OK : 入力が完了したときに押します。

   * 「>10」ボタンを押すことでも切り換わります。
   ** 「CLEAR」ボタンを押すと、入力したすべての文字を削除できます。

ファームウェアアップデート

ネットワーク経由またはUSB経由でファームウェアをアップデートできます。

最新ファームウェアの入手

最新ファームウェアは、Onkyoホームページで公開しています。
(なお、ファームウェアが掲載されていない場合、更新はありません)
ファームウェアのバージョンの確認方法は、「Update」をご覧ください。

ネットワーク経由で更新する

後面パネルのネットワーク接続を利用してファームウェアをアップデートできます。

アップデートする際の注意

- 本機の電源が入っていることと、Ethernetケーブルが本機の後面パネルに接続されていることを確認してください。
- アップデート中は絶対に本機の接続を外したり電源を落としたりしないでください。
- アップデート中は絶対にEthernetケーブルを抜き差ししないでください。
- アップデート中は絶対に電源コードの抜き差しをしないでください。
- アップデート中はPCから本機にアクセスしようとしないでください。
- アップデート完了まで約5分かかります。
- アップデート完了後も、お客様が行った諸設定は保持されます。

ファームウェアの更新を始める前
- アップデートの前に、ネットワークの接続を確認してください。
- 再生中のインターネットラジオ、iPod/iPhone、USB、または、サーバーなどを止めてください。

アップデート手順

1. メニュー(MENU)ボタンを押してから、方向(∧ / ∨)ボタンで「Update」を選びます。
2. エンター(ENTER)ボタンを押します。
   - 「Not Available」が表示されて「Update」が選択できない場合は、しばらくお待ちください。
3. 方向(< / >)ボタンで「CN via NET」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   - アップデートが可能なファームウェアが存在しない場合は、選択項目が表示されない為、選択できません。
4. 「UpdateStart」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押します。
   - 本機はアップデートを開始します。
5. アップデートが完了すると「Completed」というメッセージが本機の表示部に表示されます。
6. 前面パネルの ⏻ ON/STANDBYボタンを押すと、本機はスタンバイ状態になります。
   - このときリモコンの ⏻ ボタンは使用しないでください。
     3分間何もしなかった場合も、自動的にスタンバイ状態になります。
     これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

ケース1
エラー時は、本機の表示部で「Error!! *-**」と表示されるか、またはエラーメッセージが表示されます。(アスタリスクは表示される英数字を表しています。)以下の説明を参照し、確認してください。

エラーコード

***-10、*-20**：LANケーブルが認識できません。LANケーブルを正しく接続してください。

***-11、*-13、*-21、*-28**：インターネットに接続できません。下記の項目を確認してください

- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、DNSサーバーが正しく設定されているか確認してください。
- ルータの電源が入っているか確認してください。
- 本機とルータがLANケーブルでつながっているか確認してください。
- ルータの設定を確認してください。設定については、ルータの取扱説明書をご覧ください。
- ご利用のネットワーク環境が複数機器からの接続を許可していない場合は、本機からネットワーク接続できないおそれがあります。ISP(インターネットサービスプロバイダ)にご確認ください。
- お使いのモデムにルーター機能がない場合は、別途ルーターが必要です。ネットワーク接続環境によっては、プロキシサーバーを設定する必要があります。設定については、ご利用の回線業者やプロバイダの資料をご確認ください。
- それでもインターネットにつながらない時は、DNSサーバーまたはプロキシサーバーが停止している可能性があります。サーバーの稼働状況をプロバイダにご確認ください。

その他：もう一度最初からやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載のオンキヨーオーディオコールセンターまでご連絡ください。

ケース2
アップデート中にエラーが発生した場合、一度電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込み、もう一度アップデートを行ってください。

ケース3
ネットワーク環境がない場合は、巻末に記載のオンキヨーオーディオコールセンターへご連絡ください。

USB経由で更新する

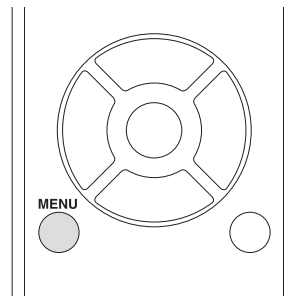
USB端子を利用してファームウェアをアップデートできます。

- アップデートには、容量が32MB以上のUSBメモリーが必要です。

アップデートする際の注意

- アップデートする前に、再生を停止し、USB端子への接続をすべて外してください。
- アップデート中は、絶対に本機の電源をスタンバイにしたり、電源コードやアップデート用USBメモリーを抜かないでください。
- アップデート中は、PCから本機へアクセスしないでください。
- アップデート完了までは、約5分かかります。
- アップデート完了後も、設定は保持されます。

アップデート手順

1. お使いのPCにUSBメモリーを接続し、USBメモリー内にファイルがある場合は消去します。
2. 当社ホームページからPCにファームウェア・ファイルをダウンロードします。
   ダウンロードしたファイルをPC上で解凍してください。
   - 解凍したファイルのファイル名は変更しないでください。
3. 解凍したファイルをUSBメモリーのルートフォルダにコピーします。
   解凍したファイル以外はコピーしないでください。解凍前のファイルもコピーしないでください。
4. 本機の電源が入っていることを確認します。
5. 解凍したファイルをコピーしたUSBメモリーを前面パネルのUSB端子に接続します。
6. 入力切換(INPUT)ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」にします。
   表示部に「Now Initializing...」と表示された後、USBメモリー名が表示されます。
   - USBメモリーを認識するのに20〜30秒かかります。
7. リモコンのメニュー(MENU)ボタンを押してメニューを表示させ、方向(∧ / ∨)ボタンで「Update」を選びます。

8. エンター(ENTER) ボタンを押します。

9. 方向(< / >) ボタンで「CN via USB?」を選び、エンター(ENTER) ボタンを押します
   - アップデートが可能なファームウェアが存在しない場合は、選択項目が表示されないため、選択できません。

10. 「UpdateStart?」を選び、エンター(ENTER) ボタンを押します。
    本機はアップデートを開始します。
11. 「Complete」表示後に、USBメモリーを抜きます。
12. ⏻ ON/ STANDBYボタンを押して、本機をスタンバイ状態にします。
    - リモコンの ⏻ ON/ STANDBYボタンは使用しないでください。
    - 3分間何もしなかった場合も、自動的にスタンバイ状態になります。

    これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

エラーコード

エラー時は、本機の表示部で「Error! *-**」と表示されるか、またはエラーメッセージが表示されます。(アスタリスクは表示される英数字を表しています。) エラーコードを参照し、確認してください。

***-10、*-20** : USBメモリーが認識できません。USBメモリーやUSBケーブルが、本機のUSB端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。

***-14** : USBメモリーのルートフォルダにファームウェアファイルが存在しない、お使いの機種と異なるファームウェアファイルが使用されている、などが考えられます。

その他 : 最初からやり直してください。

- アップデート中にエラーが発生した場合、一度電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込み、もう一度アップデートを行ってください。
- 何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載のオンキョーオーディオコールセンターまでご連絡ください。

参考情報

iPod/iPhone を使うには

以下のApple製品を本機に接続して使うことができます。
iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5
iPhone 4s、iPhone 4
iPhone 3GS、iPhone 3G
iPod touch (第1、第2、第3、第4、第5世代)
iPod classic
iPod nano (第2、第3、第4、第5、第6、第7世代)

- 本機では、iPod/iPhoneのビデオは出力できません。
- 本機のUSB端子にiPod/iPhoneを接続するには、iPod/iPhoneに付属のUSBケーブルをお使いください。
- お使いのiPod/iPhoneが本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

以下のロゴマークのあるCD

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。または、MP3/WAVファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できま せん。

- 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。
- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3/WAV形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

ディスクの取り扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

レンタルCDの注意について

- CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものは使用しないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

参考情報

お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

MP3/WAVについて

本機はCD-R/CD-RW に記録されたMP3/WAVファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット
  MP3(拡張子「.mp3」、「.MP3」)
  規格 MPEG1/2 Audio Layer-2/3
  サンプリング周波数
  16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48 kHz
  ビットレート 8k～320kbpsおよびVBR

  VBR(Variable Bit Rate)に対応しています。VBR再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

  WAV (拡張子「.wav」、「.WAV」)
  サンプリング周波数 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48 kHz
  量子化ビット数 8/16ビット

PCを使ってMP3/WAVディスクを作成する際の注意

- ISO9660規格で記録されていないディスクは再生できません。
- MP3/WAVファイルの認識はファイル拡張子(MP3の場合は「.mp3」、WAVの場合 「.wav」)で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは認識できません。また、ファイル名に拡張子をつけていてもMP3またはWAVデータ形式でないファイルは再生できません。
- CD-R/CD-RWへの記録後は、クローズセッション(ディスクの作成を完了)してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大フォルダ数は99です。また、フォルダ(ルートを含む)とファイルの合計が499まで認識、再生することができます。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。

USB/ネットワークについて

本機で再生できる音楽ファイル

- USB、ネットワーク経由で再生できる音楽ファイルは以下の通りです。
- 本機はUSB再生における下記条件時でのギャップレス再生に対応しています。
  WAV, FLAC, AppleLossless再生時、同一のフォーマット、サンプリング周波数、チャンネル数、量子化ビット数が連続再生される場合
- リモート再生は、ギャップレス再生に対応していません。

MP3
拡張子 .mp3、.MP3
規格 MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート 8 k～320 kbpsおよびVBR

WMA
拡張子 .wma、.WMA
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート 5k～320 kbpsおよびVBR
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- WMA Pro/Voice非対応

WMA Lossless
拡張子 .wmaまたは.WMA
サンプリング周波数
44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
量子化ビット数 16ビット、24ビット

WAV
拡張子 .wav、.WAV
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4kHz、192 kHz
量子化ビット数
8ビット、16ビット、24ビット
- WAVファイルは非圧縮のPCMデジタルオーディオを含みます。

AAC
拡張子 .aac、.m4a、.mp4、.3gp、.3g2、AAC、.M4A、.MP4、.3GP、.3G2
規格 MPEG-2/MPEG-4 Audio
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
ビットレート
8 k～320 kbpsおよびVBR

FLAC
拡張子 .flac、.FLAC
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、192 kHz
量子化ビット数
8ビット、16ビット、24ビット

参考情報

Ogg Vorbis

拡張子　.ogg、.OGG
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、32kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート　48 k～500 kbpsおよびVBR

- 互換性のないファイルは再生できません。

LPCM (Linear PCM)

サンプリング周波数
44.1 kHz、48 kHz
量子化ビット数
16ビット

- ネットワーク経由での再生のみに対応しています。

Apple Lossless

拡張子　.m4a、.mp4、.M4A、.MP4
サンプリング周波数
8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、64 kHz、88.2 kHz、96 kHz
量子化ビット数
16ビット、24ビット

DSD

拡張子　.dsf、.DSF
サンプリング周波数
2.8224 MHz、5.6448 MHz

- リモート再生では、本機は次のフォーマットには対応していません。
  FLAC、Ogg Vorbis、DSD
- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、上記のフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11をお使いの場合、PCに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。
- VBR (可変ビットレート) で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。

USBメモリーについて

本機ではUSBメモリーのみ使用できます。

- USBメモリーのフォーマットは、FAT16、FAT32に対応しています。
- USBメモリーがパーティションで区切られている場合、本機では複数のUSBメモリーとして認識されます。
- 1フォルダにつき20000曲まで、フォルダは16階層まで対応しています。
- 本機はハブおよびハブ機能付きUSB機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- 後面パネルのUSB端子(USB(R))にUSBメモリーを接続した場合、ビットレート176.4 kHz以上のWAVファイルとDSD 5.6 MHzのファイルは再生できません。
- 接続したメディアが対応していない場合、本機の表示部に「No Storage」というメッセージが表示されます。
- 著作権保護された音声ファイルは本機では再生できません。
- 本機のUSB端子にPCを接続しないでください。
- 本機のUSB端子にはPCから音声を入力できません。
- USBカードリーダーに挿したメディアは使えないことがあります。
- USBメモリーやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- USBメモリーによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- USBメモリーの使用に際して、データの損失や変更、USBメモリーの故障などが発生しても当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USBメモリーに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機はセキュリティ機能付きUSBメモリーに対応していません。

DLNAについて

DLNAとは、Digital Living Network Alliance の略称で、ホームネットワーク(LAN)によってPCやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNAガイドラインV1.5に準拠しています。

サーバーについて

本機は以下のWindows Media Player に対応しています。

- Windows Media Player 11
- Windows Media Player 12
- DLNA準拠サーバー

ネットワークサーバーは本機と同じネットワークに接続していなければなりません。
1フォルダにつき20000曲まで、フォルダは16階層まで対応しています。

- メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

ネットワークサービスについて

本機を通じて利用できるネットワークサービスおよびコンテンツにつきましては、サービスプロバイダー様のサービス終了により、予期せず、ご利用いただけなくなる場合があります。

困ったときは

一般

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

本機の電源が切れる

- オートスタンバイ(Auto Standby) 機能を有効にすると、一定の条件下で自動的にスタンバイ状態に移行します。設定を確認してください。

音が出ない

- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。

リモコンで操作できない

- 電池が消耗している場合は、新しい電池に交換してください。
- リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

雑音がする

- テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CDプレーヤー

再生できない

- ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

音飛びする

- 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

音楽ファイル

再生できない

- ファイルのフォーマットを確認してください。再生可能ファイルはCDの場合「MP3/WAVについて」、USBおよびネットワーク経由の再生は「本機で再生できる音楽ファイル」をご覧ください。

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない

- ファイルにID3タグが入っていません。PCなどでID3タグを編集したMP3ファイルを作成し直してください。

正しく表示されない文字がある

- 本機の表示部は半角のアルファベットと数字(1バイト文字)に対応しています。ファイル名にその他の言語の全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は可能ですが表示部に正しく表示できません。

iPod/iPhone

再生できない

- iPod/iPhoneをいったんUSB端子から外し、数秒経ってからもう一度接続してみてください。
- 最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

iPod/iPhoneの操作ができない

- iPod/iPhoneのホールドを解除してください。
- iPod/iPhone側で音量の調節はできません。

インターネットラジオ

インターネットに接続できない

- 同じネットワークに接続しているPCが、インターネットに接続できるか確認してください。
- ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。
- ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
- 放送局/ポッドキャストが現在は配信されていないかもしれません。
- 放送局/ポッドキャストへのアドレスが変更されたかもしれません。
- 放送局/ポッドキャストの登録者が規定の数に達しているため、すでに公開されていないかもしれません。
- インターネット接続速度が遅すぎると、サーチに時間がかかることがあります。

困ったときは（続き）

インターネットラジオ/ポッドキャストが再生できない

- 発信者側で、インターネット接続の一時的な不具合が発生していることがあります。
- インターネットに正しく接続されているか確認してください。

DLNA

ネットワークに接続できない

- ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
- 同じネットワークに接続しているDLNAサーバーが、ネットワークに接続できるか確認してください。
- DLNAサーバーの接続パスワードが間違っていないか確認してください。
- DLNAサーバーがシャットダウン/スリープ状態になっていないか確認してください。
- ネットワーク認証に問題があると考えられます。入力切換(INPUT)ボタンを押して、NETを再度選んでください。

曲が見つからない

- Windows Media Player のライブラリに曲を追加してください。
- Windows のデバイス一覧で本機を選んでください。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がPCに接続できない場合があります。

Home Media

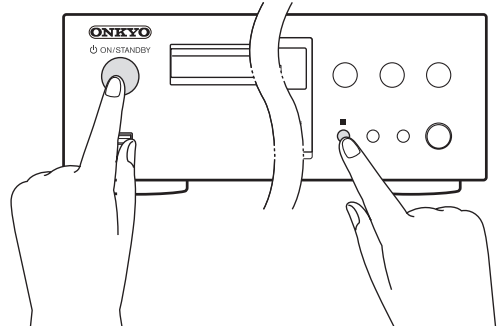
フォルダ/ ファイルが見つからない

- フォルダ/ ファイル共有の設定をしてください。
- 共有フォルダにファイルを追加してください。
- ユーザーカウントのパスワードが間違っていないか確認してください。
- ファイル形式を確認してください。
- アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がPCに接続できない場合があります。

本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

以上の操作をしても正常な動作にならない場合は、「工場出荷状態に戻すには」の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。
電源を入れた状態で停止(■)ボタンを押したまま ⏻ ON/ STANDBYボタンを押します。

仕様

周波数特性: 10Hz 〜 70kHz (192kHz/24bit)

ダイナミックレンジ:
108 dB (192kHz/24bit)
LPF 22kHz、A-Weight (@1kHz)

全高調波歪率: 0.003% (192kHz/24bit)
LPF 22kHz (@1kHz)

SN比: 115 dB (192kHz/24bit)
LPF 22kHz、A-Weight (@1kHz)

RCA定格出力電圧/インピーダンス:
2.0 V(rms) / 200 Ω

出力電圧/インピーダンス
Digital/Optical: -22.5 dBm
Digital/Coaxial: 0.5 V p-p / 75 Ω

許容動作温度/湿度: 5 ℃ 〜 35 ℃/ 5 % 〜 85 %

電源・電圧: AC 100 V, 50/60 Hz

消費電力: 11 W

待機時電力: 5.5 W

最大外形寸法 (W × H × D): 435 × 102 × 302 mm

質量: 4.6 kg

再生可能ディスク: CD-DA, CD-R, CD-RW

＊ファイナライズの状態によっては、再生できない場合があります。

■ 音声出力
デジタル音声出力: 1 (OPTICAL), 1 (COAXIAL)
アナログ音声出力: 1

■ その他
RI: 2
Ethernet: 1
USB: 2 (前面: USB2.0, 後面: USB1.1)

- 仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。
- カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

商標

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

「Made for iPod」、「Made for iPhone」とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。この製品とiPod、iPhoneを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。

Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標または登録商標です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は：保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。

■ お電話による故障判定と、修理受付け

- 意外な操作ミスが故障と思われています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。
  また弊社ホームページサポート情報にもトラブル解決のFAQが掲載していますので、ご参考ください。

オンキヨーオーディオコールセンター
050-3161-9555
（受付時間：10:00～18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

- 製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受付けております。
- スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。
  - 製品の型番
  - 接続している他機器
  - できるだけ詳しい不具合状況
  - ご購入店名
  - ご購入年月日

■ メールによる修理お申込み

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
からお申込みいただけます。

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。
http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、上記相談窓口にご相談ください。

保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては、修理可能の場合がありますのでご相談ください。

切り取り線

ONKYO　　持込修理

音響映像機器保証書

品 番（製品名）	製造番号(SERIAL)
C-N7050	**本体に記載**

お客様	
お名前	様
ご住所	〒 □□□－□□□□
電話番号	（　　　）　　－

お買い上げ日
年　　月　　日
保証期間(お買い上げ日より)
本体1年（ただし付属品ソフトウェアは除く）
取扱販売店名・住所・電話番号

見本

●お客様へお願い：お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をご記入ください。ご購入時の納品書、領収書等の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名等の記載に変えることができます。

本書は、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ、オンキヨーオーディオコールセンター、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点に修理をご依頼ください。

オンキヨー株式会社

- お問い合わせ先 オンキヨーオーディオコールセンター
  電話 **050-3161-9555**

無料修理規定

本保証書は保証期間中、製品のハードウェアの保証をするものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがったご使用で故障した場合には、無料修理をいたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と保証書、及びご購入店、ご購入日の分かる書類をご持参ご提示のうえ、オンキヨーオーディオコールセンター(050-3161-9555)、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点にご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーオーディオコールセンターにご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、水掛かり等による故障および損傷
   4) 一般家庭用以外(例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷
   5) 消耗品(各部ゴム、電池、キャリングケース等)の交換
   6) 保証書の提示がない場合
   7) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   8) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   9) 出張修理などを行った場合は、出張料はお客様のご負担となります。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

※ お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。**したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません**ので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはオンキヨーオーデイオコールセンターにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

ONKYO

オンキヨー株式会社
〒541-0041　大阪市中央区北浜二丁目２番22号 北浜中央ビル

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00〜18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

D1406-0

SN29401897